

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立泉野小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒921-8117

石川県金沢市緑が丘4-64

E-mail : izumino-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/izumino-e/

児童生徒数：男子 284名 女子 289名 合計 573名

児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

3年 金沢新発見 ～和菓子を学ぶ～

金沢でさかんな和菓子作りや茶道について、体験的な活動を取り入れながら社会科『はたらく人とわたしたちの暮らし』と関連させて学習を進めた。まず、学校周辺にある和菓子店（7店）に出かけ、和菓子の種類や原料、作り方、お店の人の思いや願いなどをインタビューした。次に和菓子工場を見学し、和菓子作りを見た。原料の吟味や季節を感じさせるデザインなど、おいしい和菓子を作るための職人さんの工夫について、実感を伴って理解することができた。さらに、食べてくれるお客さんのことを思って丁寧に作業をしている職人さんや、お店の人々の苦労や仕事への熱意などを学ぶこともできた。また、和菓子に関係の深い茶道文化に触れる体験も行い、お茶の先生から「相手を思いやるお茶の心」を学ぶことができた。

4年 発見・金沢の伝統 ～偉人から学ぶ～

4年生は『金沢の伝統』の中でも偉人と伝統工芸に焦点を当て学習を展開してきた。今年度は異国間交流を行うことで自分たちが住む金沢の良さを再認識できるのではないかと考え、アートマイルプロジェクトに参加した。そして、交流校のある台湾で大きな功績を残した八田與一技師を最初に取り上げた。八田技師がダム建設によって台湾の人々の暮らしを豊かにしたことを調べ、児童は八田技師への尊敬と敬愛の気持ちを抱くことができた。

秋の遠足では「ふるさと偉人館」へ出かけ、金沢の偉人に関する資料を調べたり、学芸員さんに質問したりした。偉人の学習を通して、児童は人に尽くすことと努力することの大切さを学び、たくさんの偉人がいる金沢の素晴らしさを感じることができた。

5年 金沢の自然と食文化

学校から徒歩15分の所にある犀川を、理科『流れる水の働き』と関連させ、学習の場として年間を通して利用してきた。秋の遠足では犀川河川敷を下流まで歩き、犀川が海に至るまでの川の様子の変化や、そこで見られる植物や野鳥を観察した。サケの稚魚放流活動では「卵から一生懸命育てたサケが戻れる川となっているか」という視点で犀川を見直し、サケのために自分たちでできることを考えさせた。自然を体感し学びを深めてきたことで、いつも見慣れている川が児童にとっては特別な川として見直す機会となった。

金沢の食文化について調べる活動では昔から受け継がれている郷土料理について調べ、分かりやすく紹介することができた。また、加賀野菜の一つである

